

令和８年度第１回豊里学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和８年 ５月 27 日（水） 9：30～

場所：今鹿島小学校 音楽室

次 第

1 開会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明・報告事項

- ・令和８年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和７年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和８年度地域と学校の連携事業予算計画について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

- ・学園グランドデザイン
- ・各校のグランドデザイン

(2) 熟議 テーマ「学園の子供たちをどのような子供たちに育てていきたいか、そのためにはどのような活動ができるか」

(3) その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- ・諸連絡等

7 閉 会



令和8年度 豊里学園グランドデザイン

豊里学園
教育目標

自己を磨き、主体的に人生を切り拓く児童生徒の育成

目指す
児童生徒像

- 学ぶ楽しさを広げていく児童生徒
- 自ら考え行動し 協働できる児童生徒
- 自分を信じ、粘り強く挑戦し続ける児童生徒

研究テーマ 学ぶ楽しさを実感し、自分の考えを伝えあう児童生徒の育成

【教えから学びへ】

「問い」をもとに、学びを深め「表現できる」意識の醸成

KPI: 小 1～中3年生が、各教科などで学んだことを生かし
ながら、自分の考えをまとめている児童生徒の割合
R5:54% → R6:59% → R7:62% → (R8:65%)

【具体的な施策】

- 学園合同研修会(年3回)
- 学園教科部会による児童生徒が「わかった」を実感できる授業改善に向けた研修
- 体験活動や地域人材・素材の積極的な活用
- 学校間における学習交流活動
- 職員研修の充実

【管理から自己決定へ】

対話と協働による幸せな学校・学級づくり

KPI: 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる児童生徒の割合
R5:55% → R6:61% → R7:61% → (R8:65%)

【具体的な施策】

- 「自分たちで考えるプロセス」を重視した特別活動・つくばスタイル科の実践
- 学年・学級活動で自己決定場面を計画的に設定・実践
- 授業や特別活動等で対話場면을意図的に設定・実践
- 職員研修の充実

【非認知能力の再認識へ】

仲間と協力し、目標に向かって粘り強く挑戦する力の醸成

KPI: 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする児童生徒の割合
R5:53% → R6:63% → R7:61% → (R8:65%)

【具体的な施策】

- 児童生徒主体の行事、特別活動の企画・実践
- 他者への信頼感や自己有用感が実感できる学年・学級づくりの実践
- 児童生徒の心を動かす仕掛けを工夫した授業・活動づくり
- 試行錯誤が保証される環境・活動の実践
- 職員研修の充実

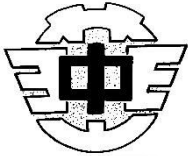
地域連携: 豊里学園コミュニティ・スクール協議会

- 地域の教育財源(人的・物的・環境等)を活用した教育活動の編成・実践
- 校内・校外活動の充実(地区で生きる自分の姿)

学び続ける・高めあう教職員集団の醸成

- Good モデルの言動・姿: 「率先垂範」
- 自己改善・ブラッシュアップによる資質の向上

令和8年度



豊里学園 つくば市立豊里中学校 グランドデザイン

豊里学園教育目標

自己を磨き、夢の実現を目指す児童生徒の育成

茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

学校教育目標

自己を磨き、
夢の実現を目指す生徒の育成

つくば市教育目標

- みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
- 自己実現できる学校
みんなで支え合い、
みんなが生き生きとした学校

組織目標

- 「繋がり」を意識した教育活動の推進
- 教育大綱に基づいた授業改善
- ワークライフバランスを重視した働き方改革の推進



ビジョン
2026
表現力



教えから学びへ

管理から自己決定へ

認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

考える生徒

認め合う生徒

挑戦する生徒

目指す
生徒像

考えをもつ 多面的に考える 考えを表現する

よさを認め協力し合う 他人の痛みが分かる

目標をもつ 粘り強く取り組む

自ら学び、表現できる意識の醸成
～学力向上に向けた授業改善～

- ユニバーサルデザイン (UD) を意識した授業づくり
- 「聴く」「伝える」スキルの取得
- TRT (Toyosato Reading Time) の充実
- THT (Toyosato 補講 Time) の計画的活用

生徒の視点や発想を生かし
向上を目指す学級・学年づくり
～自治を重視した生徒会活動～

- 心の居場所となる学級・学年づくり (SST・コグトレ等)
- ルール・メイキングを活用した特別活動の充実 (生徒会活動)
- 道徳教育の充実 (ローテーション道徳)
- 人権教育の推進

「豊里に生きる自分」を見つめる
キャリア教育の充実
～つくばスタイル科を軸として～

- 地域環境を活かした職場体験学習・ワークフォーラムの実施
- 非認知能力検査の実施
- 自己指導能力の育成
- 体験的・問題解決的な学習の推進

到達目標

◇課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいる (学園生徒評価 65%)

到達目標

◇よりよくするために、互いの意見を活かしている (学園生徒評価 65%)

到達目標

◇難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している (学園生徒評価 60%)

ビジョン
2026
連携



安全・安心

- 地域に信頼される学校づくり
～保護者や地域コミュニティとの連携・強化～
- ・豊親会との連携、保護者面談の随時実施
- コミュニティ・スクールとの連携・強化
- ・地域の人材を活用した教育活動の充実
- 「命の安全」を最優先した取組の充実
- ・豊里学園引渡訓練、交通安全教育の実施
- ・防災教育や道徳教育の充実
- 学園内小学校との連携強化
- ・相互訪問、情報共有の充実

到達
目標

◇いじめの未然防止・早期発見、相談しやすい雰囲気づくりに努めている (学園生徒評価 65%)

ビジョン
2026
教師力



研鑽・信頼

- 授業改善 『問いかけ』から『コーチング』
- ・日常の授業における改善実践の積み上げ
- 資質・専門性の向上に向けた研修の充実
- ・教員の「授業を視る眼」の育成
- ・研究授業を活かした教科指導力の向上研修
- 「ワークライフバランスを意識した勤務」
- ・時間外勤務時間の平均 10%削減
- ・昨年度の実態をもとにした取組 (部活動時間の見直し・学年会の週時程への位置付け など)

到達
目標

◇ 研究授業 (年間 10 回実施)
◇ 職員研修の充実 (毎月実施)
◇ 時間外勤務時間の削減 (平均 10%以上)

令和8年度 豊里学園つくば市立沼崎小学校グランドデザイン

【茨城県教育の目標】
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【校訓】
至誠 勤労 協和

【学園教育目標】
自己を磨き、主体的に人生を切り拓く
児童・生徒の育成

【つくば市の目指す学園・学校像】
みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え
合い、みんなが生き生きした学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

【学校教育目標】
夢と志をもち未来を切り拓く児童の育成 ～主体的に人生を切り拓く児童～

【学校経営方針】
「探究心をもち、目標に向かってチャレンジできる子どもを育成する学校づくり」
○児童一人一人が、探究心をもち、楽しく充実した生活が送れる学校
○教職員の能力を十分に発揮し、チームとして取り組める学校
○保護者・地域との連携・協働による地域とともにある学校

【組織目標】
「探究心をもち、他者と対話し他者を認め、考えを深めることができる児童の育成」
○自ら学ぶための探究的な学びと単元構成・課題設定（問い）・振り返りの工夫
○考えを深めるための対話的な学び・協働的な学びとICTの効果的な活用
○一人一人が自己選択・自己決定できる個別最適な学び

重点1：キャリア教育の視点を取り入れた探究型の深い学びの充実
【目指す児童像】

【教えから学びへ】
課題をもち
探究心をもち学ぶ児童

伝え合う

○探究的な学びの単元構成の工夫
○課題設定と振り返りの工夫
・「問い」から始まる授業
○考えを深めるための授業改善
・対話的・協働的な学びの設定
○NIE（新聞教育）の実践
○ICTを活用し、対話的・協働的な学びの工夫

考えを伝え深め合う授業実践
【達成目標】学校評価肯定意見80%

【管理から自己決定へ】
互いの良さを認め合う児童

認め合う

○自己選択・自己決定の場の設定
・個別最適な学び
・ルールメイキング
○他者との対話による、考えを深める活動の工夫
・「沼小トークタイム」の設定
○道徳教育の充実
・「考え・議論する道徳」の実施

学校が楽しい・友達と仲が良い
【達成目標】学校評価肯定意見90%

【非認知能力の再認識へ】
目標に向かって
挑戦し続ける児童

挑戦し続ける

○探究的・協働的な課題設定の工夫
○自己肯定感・自己有用感の向上
・縦割り班活動
・係・委員会の自発的活動の充実
○キャリア教育における実体験の重視による主体性の育成

目標に向かって挑戦している
【達成目標】学校評価肯定意見80%

重点2：地域・保護者の連携、協働体制

○積極的な情報発信
・学校だより・HP・メール配信、学校評価の有効活用
○地域・外部人材・関係機関等の地域の教育力の活用
・地域人材の活用
（読み聞かせ、保護者ボランティア等）
・SC、SSWの活用
・外部人材の活用（科学出前レクチャー等）
○豊里学園コミュニティ・スクール協議会との連携
・学園・学校の目標の共有化

地域と連携・開かれた学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

重点3：チームで協働する教職員集団づくり

○教職員の共通理解とチーム対応力の向上
・安全・安心な学校作り
・教職員の危機管理の徹底と共通理解・チーム対応
・児童一人一人の心の居場所となる学校・学級づくり
・地域や学園と連携した学園・学校防災
○研修の充実による教職員の資質向上
・働き方改革推進のための日課の工夫と5時間授業
（教材研究と子どもと向き合う時間の確保）
・コンプライアンスの確保とメンタルヘルス

信頼される学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

【校内研究テーマ】
キャリア教育の視点を取り入れた探究型の深い学びの充実を目指して～NIEの実践を通して～



令和8年度 つくば市立今鹿島小学校グランドデザイン

【学校教育目標】

互いのよさを認め合い、自らの力で未来を拓く児童の育成

【組織目標】

社会の変化に、しなやかに対応できる力を養う教育活動の推進

目指す児童の姿

『教えから学びへ』

○多面的に考え表現できる

- ・課題解決型学習
- ・体験型、発信型学習

『管理から自己決定へ』

○よさを語り認め合える

- ・ルールメイキング
- ・自治的な集団づくり

『非認知能力の再認識へ』

○経験値をより高めていく

- ・安心、信頼の生活環境
- ・試行錯誤が保証される環境

地域とともに

- コミュニティスクール協議会との連携強化
(学園内連携の充実と活性化)
- 地域人材(ゲストティーチャー)の積極的な活用
- 地域教育力を活用した体験活動の充実

高め合う教職員

- 「働きがい」を充実させる、3つのユニットによる
協働体制の充実とユニット内チーム担任制の導入
- ニーズに合わせた校内研修
- 互いのよさを認め合い、支え合う風土の醸成

令和8年度つくば市立上郷小学校グランドデザイン



【学校教育目標】

よりよい未来を切り拓く児童・コミュニティの育成
～Well-Being (みんなが幸せな) 上郷～

【組織目標】

- ◎児童の問いを生かしたプロジェクト型学習の展開
- ◎児童に寄り添う時間を最大化する学校改革の推進



つくば市教育大綱に基づいた教育活動

◎教えから学びへ

- ～対話、協働、試行錯誤、アウトプットの重視
- ～振り返り活動（自己調整力）の強化

◎管理から自己決定へ

- ～対話を通した学校生活の向上を目指す特別活動の充実

◎認知能力偏重から非認知能力の再確認へ

- ～児童が他者や社会と協働する活動のさらなる実践

コミュニティースクールの推進

◎地域との対話、協働のさらなる推進

やりがいと働き方のコラボ

- ◎協働により補完し合い、高め合う教職員集団へ